

事業所訪問

こんにちは健保組合です！

富士運輸株式会社

の巻



坂巻社長(右)と齊藤部長

合は支えられているのです。

組合の健全財政を願い 現状を憂えるお言葉

富士運輸の社はJR北松戸駅に近く、水戸街道とよばれる国道六号にも数分というアクセスの良さにもかかわらず、雑踏の少ない閑静な住宅街の一角にモダンな社屋を構えておられました。近隣には、運動公園もあり、居住するにも絶好の場所だと思われました。

目的地に到着し、「こんにちは健保組合です!」と挨拶申し上げます、「ようこそ、遠いところを」と前述

の齊藤部長が丁寧に迎えられて、応接室へご案内くださいました。ここで、多忙なスケジュールを調整くださった坂巻社長が同席され、今日の取材が始まりました。

本来ですと、事務局から組合の現況報告を申し上げて、取材が始まるのですが、今回は様子が異なり、冒頭から坂巻社長より、組合財政を憂える言葉をいただきました。「健保設立は容易ではなかったが、設立できてホッとしている間もなく、新聞紙上を賑わせている人口構造の高齢化や、医療の抱える諸問題が健保財政を大きく圧迫していることに大きな

不安を感じる」とおっしゃいました。これは、まさに私たちが直面している大きな問題です。その解決策を模索している余地はないところにまで追い込まれていることを、同氏は感じておられ、組合独自のカラーやメリットを前面に出せない組合運営は設立趣旨に反すると考えておられるのではないのでしょうか。いずれにしても、真剣に組合の健全運営を考えていただいているということを実感して、私たちは感謝の気持ちでいっぱいでした(この後、組合の現況報告を申し上げます)。

まもなく設立三五周年 関連会社を数社保有

話題は、富士運輸の歴史等に移行しました。

同社は、雪印乳業の原料を運搬する会社として、昭和三十七年に設立とのこと。その後、徐々に事業を拡大し、現在では、関連会社を数社保有するまでに発展され、もうすぐ三五周年を迎えられるのだそうです。坂巻社長は、「よくここまで会社が続いた」と謙遜されましたが、さまざま昔のエピソードをお聞きするなかで経営の工夫やご苦労がうかがえ

職員教育の徹底で 健診の実施率は 一〇〇%

このように日配品を配送するため三六五日営業といった業務形態の関係上、福利厚生に関することは全社員をあげて実施することが難しく、おろそかにしがちなのですが、同社との親善ソフトボール大会、ボウリング大会等を企画しており、健康増進に心掛けていらっしゃいます。また、安全衛生委員会を設けられ、職員教育の徹底や災害防止を強力に推進しておられます。さらには、社員の健康診断においては一〇〇%の実施率ということでした。健全なる企業を運営するためには、人材に重きをおいた経営方針が欠かせないのではありませんか。

話題は尽きませんでしたが、最後に、坂巻社長自身の健康についてお聞きすると、「早寝早起き」とおっしゃいました。ところがそれは、私たちが想像した時間帯ではありません。毎日、陽の出る前に起床して営業所を回られ、社員の方々に声をかけていらつしやるのだそうです。氏の優しい心遣いが無事故につながっているのです。



雪印乳業(株)から贈られた仔牛のはく製と坂巻社長

ました。運ぶ荷物も時代の趨勢により、原料から製品へと変わってきたようです。興味深いことに「牛乳」と一言でいっても、約六〇〇種類のものがあるのだそうです。しかも、鮮度が勝負の業界なので、時間のリスクもついて回るといことなのです。私たちが牛乳を購入する際、どれだけ製品に関心を寄せているかは、人それぞれですが、おそらくそんなにたくさん種類のニーズに合わせられていないと思います。消費者の元に届くまでに、生産・加工・運搬等、携わっておられる方々のご苦労をあらためて思い知らされたのでした。

このように、絶えることのない笑いに終始した取材も、タイムリミットとなり終えました(興味をそそられた牛乳に関するエピソードを、紙面の都合で披露できなくて残念です)。

取材を終えて帰路につくころには、とうとう空が泣き出してしまいました

た。水不足がどこからか耳に入ってきましたが、「梅雨期は雨が降るもの」とちよつと我慢して、今年の水瓶に十分な恵みを与えてもらいたいのものです。それに、雨はみずみずしい夏の味覚をもたらしてくれるのですから、梅雨明けまで皆さん我慢しましょうね。